

# 守山まるごと活性化計画 吉身学区 第3回会議

## 1. 実施概要

学区・回	吉身学区 第3回
日時	2013年8月30日(金) 19:30~21:30
会場	吉身会館
参加者	住民24人(元町3人、下之郷2人、吉身西町3人、吉身中町2人、吉身東町3人、 レックス武番館2人、岡1人、立入3人、浮気3人、グランドメゾン守山2人) 守山市(西井、西木、柿本、坪内、足立) 地域未来研究所(田淵、小野田、倉嶋)
会場設営	4テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内主査)</p> <p>②開会挨拶(三宅学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。</li> <li>・「豊富な水資源」の項目では、石田川、守山川、吉身川、目田川、伊勢戸川、金ヶ森川の追加があった。</li> <li>・「地域に守られている神社仏閣」の項目では、住吉神社、馬部石邊神社の地区内の神社仏閣の追加があった。</li> <li>・「昔から受け継がれている史跡」の項目では、下之郷遺跡、多くの遺跡の追加があった。</li> <li>・「祭り」の項目では、住吉神社の火祭り、馬部石邊神社の豊年踊りの追加があった。</li> <li>・「人が集まる施設」の項目では、守山駅(東口)、駅前公園噴水、レックスの追加があった。</li> <li>・「人が集う仕組み」の項目では、バーベキュー大会の追加があった。</li> <li>・「地域に親しまれている公園・広場など」の項目では、ふれあい公園の追加があった。</li> </ul>

## ②学区のまちづくりの課題と方向性

- ・学区が抱えるまちづくりの課題については、各テーブルとも共通して「新旧住民のつながりの弱さ」による活力低下や「住宅開発による自然や広場などの減少」、「道路や公園、河川などの施設の充実・整備」など社会基盤に関わる意見が多く出された。
- ・今後のまちづくりの方向性については、「史跡や施設の活用」や「新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり」、「まちの現状を活かした魅力づくり」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が多く出された。
- ・課題及び方向性のカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。

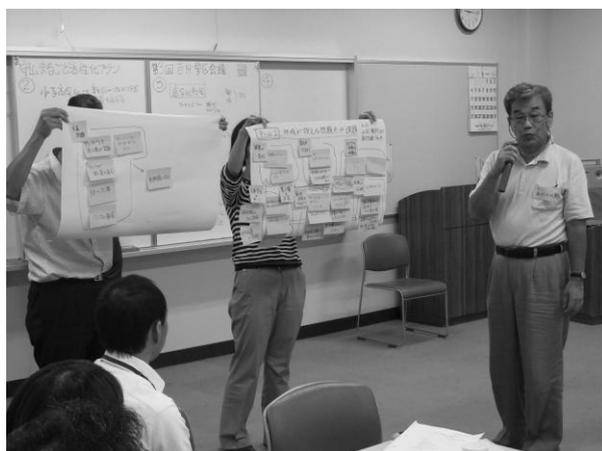
## 4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表がまちづくりの課題、今後のまちづくりの方向性について検討結果を発表した。

## 5. その他

- ・次回会議の開催日時は、会長会議にて開催日を決定、委員に周知することとなった。

### 第3回吉身学区会議の様子



## 2. 第3回学区会議の意見まとめ

地区のまちづくりの課題や方向性をまとめた。

### <吉身学区のまちづくりの課題>

#### ■住宅開発による自然や広場などの減少

- ① 住宅開発が進み緑地がなくなるとともに、ホタルも減少している。三上山も見えなくなった。
- ② 子どもの遊び場がなくなるとともに、商店街も宅地化が進んでいる。

#### ■自動車増加による交通問題などの発生

- ③ 自動車の増加により抜け道を通ったり、横断歩道を止まらないなどの自動車マナーが低下している。
- ④ 通学路に指定されている道路の安全性が確保されていない。子どもが危険である。
- ⑤ 路線バスの本数が少ないなど、公共交通のサービスレベルが低い。

#### ■道路や公園、河川などの施設の充実・整備

- ⑥ 宅地化の影響により、生活道路がややこしくなっている。
- ⑦ 幹線道路でも街灯が少なく道路が暗い。
- ⑧ さまざまな世代が集える公園がない。公園があってもボール遊び禁止などの規則がある。

#### ■史跡・施設の有効活用

- ⑨ JR守山駅を起点とした史跡めぐりのウォーキングマップの作成やレンタサイクルの活用。
- ⑩ 公園や広場でフリーマーケットなどのイベントを開催し、にぎわいを創出する必要がある。

#### ■交流の場の不足

- ⑪ 人口増加に対応した施設（公民館、広場など）の整備がされていない。
- ⑫ JRや河川により、地域が分断されている。

#### ■新旧住民のつながりの弱さ

- ⑬ マンション・アパートに住んでいる住民との交流が難しい。
- ⑭ 人のつながりが薄い。隣に誰が住んでいるのかわからない。
- ⑮ 新住民が自治会活動に参加してくれない。その結果、自治会の新旧交代ができていない。

#### ■地域の伝統行事活動の担い手不足

- ⑯ 行事参加のわずらわしさから自治会を脱会する人がいる。
- ⑰ 伝統行事の継承について早めに対応する必要がある。

#### ■少子高齢化の進展

- ⑱ 高齢者、特に団地の独居老人が増加している。

#### ■障壁となる問題

- ⑲ 行政と個人生活の係わり方。法規、法律、市民条例の問題。

## 2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
住宅開発による 自然や広場などの減少	みどりの減少。だんだん竹藪等が減って来ている。	○里の雰囲気を生かすまちづくり ○細かな土地利用の設定
	緑地が少なくなってきた。	
	三上山が見えなくなってきた。	
	子供の遊び場がない。	
	住宅の増加→空地の減少。	
	商店街がなくなる。	
	宅地開発が進んで今までののどかな景色がなくなる。	
	ホタルを増やすための河川の維持管理方法。具体的にどう守り、育てれば良い？	
	動物（ホタル、ハリヨ、あひる等）を河川で飼う。子供の教育にも活用。守っていくルールを。川を知らない人へのアピール。	
	無秩序な宅地開発。自然を守っていかなくては！	
	農業区（ゾーン）と生活ゾーンの分割？	
自動車増加による 交通問題などの発生	R8の渋滞。	○公共交通サービスの確保 ○安全・安心の確保
	クルマが細い道を通る。	
	交差点、進入違反多い。	
	交通は自家用車を中心。	
	自転車のマナーが悪い（一部と思われるが）。ルールづくりが課題。	
	自転車道路の一貫性がない。途中で切れている。自転車地図などが必要。	
	住民の増加により車が増えて来た。車の通り抜け等あり。	
	新しいスーパー等が出来、車の量が多くなった。	
	信号のタイミングが悪い。	
	信号のない横断歩道。車止まってくれない。ルールとマナーが必要。	

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
自動車増加による交通問題などの発生	歩行者（園児）多し（横断歩道）。レインボー通り車が止まってくれない。	
	新幹線の活用。	
	線路を横切る道が狭い。よく使うのに不便。	
	地域内の公共交通の便が悪い。バスの本数が少ない。	
	地下道危険。	
	野洲川を渡る橋が混雑。	
道路や公園、河川などの施設の充実・整備	生活道路の整備。	○まちの現状を活かした魅力づくり
	通学路の安全整備。子供の安全。	○吉身会館などの既存施設の充実・活用
	あぶない通学路を整備してほしい。子供が危険。	○河川公園の活用
	宅地開発が進んで、道路が整備されてなく、ややこしい道に。	○イベントの開催
	バイパスの整備。	
	県道吉身5丁目交差点の水たまり（雨の日）。	
	道路に名前を付けてほしい（できるだけ多く→すべて）。愛着もわく。生活の中で目印になる。	
	グリーンロード街灯。暗い（県道）。	
	赤ノ井道街灯。暗い（県道）。	
	子供の遊び場がない。公園があってもボール遊びは禁止されている。子供たちがボール遊びや家族で遊べる共通の公園があれば。河川敷ふれあい？	
	いろんな世代が遊べる場…広さが必要。	
	ふれあい公園に売店がない。	
	守山駅東口には店がない。	
	身近なところに病院がない（東町）。	
	水の排水がしきれていない。	
川の整備。雨が降るとあふれてしまう川が多い。昔は船が通っていた川もあった。		
本をゆっくり読める場所がない（図書館）。		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
交流の場の不足	JR で分断されている。	
	家が増えて住民の集まる場所がない。	
	吉身川のホタル（700 匹）。細い道の活用（交流の場）。	
	自治会館が狭い。人口増に対してまちの発展に対応できていない。	
	通れる場所が限られる⇔集まる場。	
史跡・施設の有効活用	JR 守山駅（西口、東口）より神社仏閣めぐりのウォーキングマップ。問題点：歩道の整備を。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史のまちとしてのPR</li> <li>○旧中山道などの史跡の活用</li> <li>○史跡をつないだルートの整備</li> <li>○イベントの開催</li> <li>○まちあるきのツールづくり</li> <li>○大学・企業を中心とした活性化</li> </ul>
	JR 守山駅よりレンタル自転車の活用（サイクルマップ）。問題点：サイクルロードの整備。	
	おみやさん（吉身東町）有効活用を。	
	フリーマーケット等小規模でもイベントを！	
	公園・広場などのにぎわいのある利用方法の拡大が必要ではないか。例えばフリーマーケットなど。	
	遺跡を基点にして周辺の開発。河川の有効利用（標示と遊歩道）。人が集まれるきっかけとして！	
	旧中山道の活性化。斉藤小児科～まるぜん和菓子店。守山学区との格差。	
	将来的に整合をもった開発計画をもっと細かな所まで作ること。補助金ありきで作ったバイエロジー自転車道、今は行政でも考えもしていない。	
	小さな公園の活用ができてない。せまい、影がない。何かが足りない。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力づくりなどすると良い。</li> <li>歴史を体系的に見てみる必要があるのではないか。史跡、宝物を歴史軸においてみて整理してみたらどうか。伊勢道がどこにあるか。</li> </ul>	

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
少子高齢化の進展	10～20年後、空き家が増えるのでは？	
	休日、子供の声が聞こえない。	
	地域の中でも子供の有無がある。	
	個人情報への壁。	
	個人情報の問題で実情がつかめない。	
	高齢者の無事の確認。災害時の問題。	
	災害時の助け合いできるのか？	
	スズメバチ。一人住まいの老人の手助け。	
	高齢の一人住まい。危険があっても近くの人に助けを呼べない。	
	独り住まいの高齢者の増加。特に団地。	
	高齢化社会（10年後）。	
	若い人に住んでもらうことが必要。	
	若年層住民の移入対策。	
	住んでくれている若い方々の40年後。	
	住民の高齢化。若年層住民の移入対策。	
	旧家の道も広くする→すみやすさ向上。	
	役員の高齢化（定年退職等による）。	
根本的問題。委員の人選に問題あり。		
年齢、性別をもっと多面的に人選すべき（70歳以上が集まってどうなるの？）。		
老齢化が岡町の最大の課題。これを今回の街づくりとの関連でどう道筋を作れるか。防災対策。		
新旧住民のつながりの弱さ	ゴミの出し方がわからない転入者。	○新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり ○新住民が自治会役員になるしくみづくり
	ゴミ集積所で出し方が出来ていない。アパート。	
	行政の説明不足（ごみ）。	
	マンション・アパート（賃貸）住民との交流が難しい（入れ替わりが多い為）。	
	顔が見えない。	

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
新旧住民のつながりの弱さ	新しい家が建ち、新住民との付き合い等。	
	賃貸マンション・中小集合住宅住民とのコミュニケーション。住民の出入りが激しい。	
	個人の主張が強まっているようだ。	
	自治会活動に参加してくれない。	
	若い人にいろんな事に参加してほしい。社会人になると来なくなる。青年団が必要。	
	新旧住民の交流。	
	自分も含め新住民に守山、吉身学区の事をどうして知らせるかの取組がされていない。	
	町民や親子でふれ合う場が必要（神社・公園の利用）。	
	新旧交代しにくい。	
	新旧交代しやすい仕組みづくりが課題。	
	人のつながりが薄い。例えば、地区活動参加者の固定化。新規住宅の増加→新住人の増加。	
	日頃の住民の付き合いが薄い。隣に誰が住んでいるのか？	
	配布物について、基本的には組長が配るか、以前は各戸に配布していた。近年バインダーにはさんだ状態で回される。つながりの希薄化か省力化か。	
	平日、まちに人がいない（新住民）。災害時の助け合いが不可能。	
役員が中心になってしまう。		
地域の伝統・行事・活動の担い手不足	お宮さん等の行事参加のわずらわしさから自治会脱会も有り、難しい。	
	自治会からまち関連イベントに声かけ→よろこんで参加してくれた。	
	伝統行事の継承について早めの対応。技術者不足。	
	役員になる人が少ない。活性化するのであれば自分から進んで立候補。	
障壁となる問題	学区間の調整が必要。	
	行政と個人生活の係わり方。守山市は少し介入しすぎ？無駄な経費も多い。	
	法規、法律、市民条例の問題。	